

中国における「池田思想研究」の動向（3）

高橋 強

1) 池田思想研究の学術シンポジウム

華中師範大学と本学は、2006年10月14日、華中師範大学にて「調和社会と調和世界」と題し池田大作思想国際学術シンポジウムを開催した。これには池田研究機関を有する北京大学、湖南師範大学、肇慶学院、杉達学院、中山大学、遼寧師範大学、湖南大学、武漢大学、広西師範大学（2006年12月に池田研究機関設立）、中国文化大学（台湾）等の20大学・機関の研究者約70名が出席した。

今回のシンポジウムに対し、合計39本の論文が寄せられ、昨年、北京大学と本学で共催したシンポジウムに比べ、論文数が2倍以上に達している。これは昨年のシンポジウム以降、新たに4つの研究機関、即ち遼寧師範大学「池田大作平和文化研究所」、北京連合大学「池田大作時習会」、湖南大学「池田大作研究センター」、武漢大学「池田大作研究所」が加わったことと、既に設立されている各研究機関が、大きく進展したことの現れだと思われる。

今回のシンポジウムのテーマ「調和社会と調和世界」に沿って、総論と各論に分けて考えて見ると、総論的に述べたものは、「池田大作の調和思想」、「池田哲学と調和理念の復権」および「池田大作の調和思想概論」であろう。これら論文に共通して指摘されている視点は、「依正不二」即ち人間と自然或いは生存環境に関する調和思想、「色心不二」即ち物質世界と精神世界に関する調和思想、生命尊厳の世界平和論である。その上で生命の意義や価値を思索し、健全な人格を構築する為の調和の教育を強調したり、人類にとって唯一無二の母体であり基盤である自然の価値への再評価を強調したり、更には調和理念の復権を強調している。分析の視点がよく整理されており、今後の研究に大いに役立つものと思われる。

各論的に述べた論文、即ち調和論を様々な観点から述べた成果が、今回シンポジウムにおいては、大変に顕著であった。池田大作の調和論研究の大きな進展を物語っている。

「人類の社会問題を結ぶ文化を超えた対話」は対話の観点から、「人間主義を樹立する“文化社会”」は人間革命を通して樹立した文化の観点から、「天人関係：調和社会の礎石」は天人関係の観点から、「池田大作の科学技術と人類の調和についての倫理思想」は科学と宗教の融合の観点

から、「池田大作の“不二”の思想」は不二思想の観点から、「東方の智慧と“現代病”の治療」は依正不二の観点から、「自他共の幸福」はテーマの如く自他共の幸福の観点から、「教育の生命調和に対する追究」は生命教育思想の観点から、「池田大作の文学観における調和理念」は文学観の観点から、「聖人の人を感じる心は天下の平和」、「人生を照らし精神を見る」および「主客融合の哲学観を有する撮影」は撮影作品の観点から、それぞれ考察を深めている。「池田大作の『共生文化』と人類の幸福」、「共生：公共管理の新視点」および「中道を堅持し、共に調和を構築」は共生の観点から、調和論を深めている。

更に、池田大作の調和社会思想を応用し、中国の調和社会の現状分析をした成果も提出された。即ち「池田大作先生の調和社会思想から見た中国の調和社会の構築」である。

今回のシンポジウムには、池田大作の家庭教育論「池田大作の児童家庭教育観と中国古典の家族観」、女性論「池田大作女性観」、教育論「“社会の為の教育”から“教育の為の社会”」の研究の成果も提出された。社会の基礎を形成する家庭の調和も重要な視点であり、また家庭や社会において女性の果たす役割、特に調和のある関係を構築していく際に極めて重要な役割を果たしている女性に焦点を当てることは更に重要な視点である。更に“教育の為の社会”を通して、調和を志向する人材を養成する為、如何に社会の教育力を付けていくのかを検討することも重要となると思われる。調和を志向する人材を養成する際に、「調和ある人間主義道徳に向かつての一考察」は、一つの思索の機会を与えてくれるものと思われる。

池田大作の教育論研究から考えると、「池田大作教育思想と中国民衆高等教育の調和的発展」と「アメリカ創価大学の建学の精神」は、新たな研究視野を与えてくれている。即ち前者は、中国社会において、後者はアメリカ社会においてそれぞれ池田の教育思想を展開しているからである。なお「牧口常三郎とジョン・デューイ」、「教育の目的は人格的価値の向上」は、池田の教育論や創価教育の源流を研究する上で有益な視点を与えている。

近年、池田思想と著名な思想家・文学者との比較研究が増えているが、今回も「池田大作の平和思想と孔墨学説」、「儒家思想の池田大作への影響」、「池田大作と魯迅」および「神学的な人間学化」が提出された。これらも池田の調和思想や平和思想を理解する上で重要な視点を与えてくれるものと思われる。平和思想に関しては、「池田大作の平和思想研究」という論文が提出されている。

調和世界の構築という視点から見ると、「池田大作の中日友好事業に対する重大な貢献」、「池田大作の民間外交思想と実践の中日友好に対する歴史的貢献」は、特に中日間における調和的關係を構築していくという過程に重要な示唆を与えている。その他、「池田大作の国際観と世界の調和」、「池田大作のアジア太平洋地域内の協力観」は、新しい視点を提供しており注目に値する。

今回のシンポジウムは、提出された論文が質量共に極めて高い水準を有し、またそれらが種々の調和論研究に重要な示唆を与え、大変に大きな収穫があったと言っても過言ではないと思われる。今後の更なる研究の深化が期待される場所である。

[提出論文]

「道は異なっても帰着する所は同じ——私と池田先生との出会い」章開沅（華中師範大学）

「池田大作先生の中国観と中日友好」胡徳坤（武漢大学）

「池田大作の調和思想」黄富峰（聊城大学、湖南師範大学池田大作研究所研究員）

「池田哲学と調和理念の復権」石神豊（創価大学）

「池田大作の調和思想概論」田湘波、黄毅（湖南大学）

「人類の社会問題を結ぶ文化を超えた対話——池田大作、トインビー、季羨林の対話を中心に」羅福惠（華中師範大学）

「人間主義を樹立する“文化社会”——池田大作先生の人類調和実現への願望」袁咏紅（中南财经政法大学）

「天人関係：調和社会の礎石」曾建平（江西師範大学、湖南師範大学池田大作研究所研究員）

「池田大作の科学技術と人類の調和についての倫理思想——科学と宗教の融合を求めて」冉毅（湖南師範大学）

「池田大作の“不二”の思想——調和論の分析」賈蕙萱（北京大学）

「東方の智慧と“現代病”の治療——池田大作先生の“依正不二”観から述べる」馮天瑜（武漢大学）

「自他共の幸福——池田思想の視点から」高橋強（創価大学）

「教育の生命調和に対する追究——池田大作先生の生命化教育思想」曾崢（肇慶学院）

「池田大作の文学観における調和理念」李俄憲（華中師範大学）

「聖人の人を感じる心は天下の平和——撮影作品から見た池田大作の調和思想」趙慧英、崔学森（遼寧師範大学）

「人生を照らし精神を見る——池田大作の撮影含意」張景鴻（広西師範大学）

「主客融合の哲学観を有する撮影——池田大作の撮影作品分析」帥民風（広西師範大学）

「池田大作の『共生文化』と人類の幸福」林彩梅（中国文化大学）

「共生：公共管理の新視点——池田大作の共生思想」陳曉春、李勝（湖南大学）

「中道を堅持し、共に調和を構築——池田大作の共生思想」周長山（広西師範大学）

「池田大作先生の調和社会思想から見た中国の調和社会の構築」唐彦博（中国文化大学）

「池田大作の児童家庭教育観と中国古典の家族観」蔣菊（肇慶学院）

「池田大作女性観」陳愛詩（肇慶学院）

「“社会の為の教育”から“教育の為の社会”——福沢諭吉と池田大作教育思想の比較」原青林（肇慶学院）

「調和ある人間主義道徳に向かつての一考察」王麗榮、鐘明華、李萍（中山大学）

「池田大作教育思想と中国民弁高等教育の調和的發展」強連慶（杉達学院）

「アメリカ創価大学の建学の精神」ダニエル・ハブキ（アメリカ創価大学）

「牧口常三郎とジョン・デューイ」伊藤貴雄（創価大学）

「教育の目的は人格的価値の向上——創価教育思想の先駆・牧口常三郎」周洪宇、蔡幸福（華中師範大学）

「池田大作の平和思想と孔墨学説」黄順力（アモイ大学）

「儒家思想の池田大作への影響」王徳明、賈先奎（広西師範大学）

「池田大作と魯迅」王錫榮（上海魯迅記念館）

「神学的な人間学化——池田人間学のカント思想への展開」王偉英（北京大学）

「池田大作の平和思想研究」覃啓勳（武漢大学）

「池田大作の中日友好事業に対する重大な貢献」孔繁豊（南開大学）

「池田大作の民間外交思想と実践の中日友好に対する歴史的貢献」紀亜光（南開大学）

「池田大作の国際観と世界の調和」高海寛（北京大学）

「池田大作のアジア太平洋地域内の協力観」劉少華（湖南大学）

「心の向く所、歩みの向く所——池田大作と中国伝統文化の淵源およびその実践」李自豪（広西師範大学）

池田研究を進める各研究機関同士の学術シンポジウムも活発であった。

中山大学「池田大作とアジア教育研究センター」と肇慶学院「池田大作研究所」は、2006年3月25日に中山大学で、「池田大作思想とアジア教育」と題しシンポジウムを開催した。

池田大作の教育思想をめぐっては、「平和教育論」、「児童教育論」、「生命教育論」、「人間中心論」、「現代教育論」、「教育環境論」、「芸術教育論」、「人間教育論」、「内在的精神」からの考察等、多くの観点からの取り組みがなされ極めて有意義であった。また香港における実践報告は、池田の教育思想を立体的に捉える観点からすると価値ある内容であった。池田思想研究から見ると、教育思想以外にも、「女性観」、「文学観」等の成果が提出され研究の広がりも呈している。

[提出論文]

「池田大作先生の平和教育論」大崎素史（創価大学）

「池田大作の創価児童教育思想——大人と子供は未来を目指し歩む同士であり使者」李燕（創価大学）

「池田大作思想と創価教育の香港における実践」羅英才（香港国際創価学会）

「人類の危機と生命の再建——池田大作の人類の発展に対する反省」林濱、李萍（中山大学）

「教育の放つ内在的精神の光輝——池田大作教育思想の精髓」王麗榮（中山大学）

「池田大作教育思想における人間中心理論」顧元青（中山大学）

「池田大作の現代教育思想」陳順祥（中山大学）

「教育環境の浸透と人間精神の発展——池田大作の教育環境観に対する一考察」彭文靜、王麗榮（中山大学）

「池田大作芸術思想」付春光、郭彦龍（中山大学）

「池田大作の人間教育思想と中国区域基礎教育の実践」鐘明華、祁娟（中山大学）

「中国における池田教育思想研究の現状」高橋強（創価大学）

「池田大作の“妻子幸福”観——トルストイとの比較」陳愛香（肇慶学院）

「池田大作と文学」佟君（中山大学）

「文化的素養教育と現代大学の文化建設」李延保（中山大学）

「現代中国の職業道德の欠陥と発展」鄭永廷（中山大学）

「多元文化視点からの中国とシンガポール学校德育比較と啓示」王学風（華南師範大学）

「地球倫理——グローバリゼーションと道德教育に対する新思考」江伝月（中山大学）

「東南アジアの道德教育に対する一考察」劉卓紅、王夏冰（華南師範大学）

2) 新たに設立された池田研究機関は、以下の通りである。

北京連合大学「池田大作時習会」（2006年7月設立）

中日友好を推進し、世界平和の為に多大な尽力のあった池田大作博士の思想・行動を研究することを、設立目的としている。

[組織機構]

最高学術顧問は饒宗頤博士、学術顧問は賈蕙萱教授、名誉顧問は趙鵬院長、会長は紀延許学科長。

湖南大学「池田大作研究センター」（2006年10月設立）

東洋の文明の発展に偉大な貢献をなした池田大作博士は、21世紀世界が讃える「文化の巨匠」である。その思想研究を主な設立目的としている。

[組織機構]

顧問は王邦佐名誉教授、王耀中常務副学長、鄧頻声副学長、所長は陳曉春副院長、副所長は劉少華教授、専属研究員9名、兼任研究員10名。

[活動方針]

池田大作博士の政治および公共管理思想の研究を中心とする。研究書の出版および学術シンポジウムの開催。

武漢大学「池田大作研究所」（2006年10月設立）

中日友好を多年にわたり推進し、「国際的に著名な哲人」池田大作博士の思想・行動を研究する。

[組織機構]

所長は胡徳坤副学長、学術研究委員会主任は馮天瑜教授、副所長は廬江濱教授、徐水生教授、覃啓勳教授、李国勝教授、陳鋒教授。

台南科技大学「池田大作研究室」（2006年11月設立）

池田大作博士の教育観、文学観、政治観、芸術観、および宗教観を宣揚し、学内外の研究者が、学術的視点をもって池田博士の思想・行動を研究出来るよう資料の便宜を図る。

[組織機構]

推進委員長は廬昭彰主任、副委員長は侯瑞林図書館長。

[活動方針]

池田大作博士に関する論著、評論および資料の収集。池田思想に関する研究雑誌の出版。池田思想研究学術講座の開催。

南開大学「周恩来、池田大作研究会」（学生団体）（2006年12月設立）

“实事求是”的な科学的態度を堅持し、周恩来総理、池田大作博士の思想や実践を共同で研究し、人生の視野を広げ、創新能力を向上させ、学業を重んじ協調的精神でもって、価値ある人生を創造する。

[組織機構]

顧問は孔繁豊副学長、指導教授は紀亜光助教授、会長は单珏慧。

[活動方針]

定期的な読書会、学生主体の研究交流。

広西師範大学「池田大作教育思想研究所」（2006年12月設立）

池田大作博士の教育思想と教育実践を研究し、更に中日両国の教育理念と実践の比較を探索し、創価大学との共同研究を促進する。

[組織機構]

名誉所長は梁宏学長、所長は林娜副書記、常務副所長は周長山副院長、副所長は蔡昌卓教授、

帥民風院長、陳振中教授、主要研究員6名。

[活動方針]

6つの研究プロジェクトを有する。「池田大作の教育思想と実践」、「中日両国の教育比較」、「中日両国の学校德育比較」、「中日両国の芸術教育比較」、「池田大作の文学創作と文学思想」、「池田大作の調和文化と思想」。

3) 研究成果の出版情況。

書籍

冉毅『人間革命——池田大作“人間学”思想研究』四川人民出版社 2005年10月

孔繁豊 紀亜光『周恩来、池田大作と中日友好』中央文献出版社 2006年8月

論文集

「池田大作思想研究論文集」第2冊 中国文化大学池田大作研究センター 2006年

『二十一世紀への対話』における観点と予言 張鏡湖

「池田大作の二十一世紀の大学に対する展望とその教育論」林彩梅

「池田大作の教育観から21世紀の思想の潮流を論ずる」劉焜輝

「多国籍企業と人間主義——社会貢献と平和」水元昇

『二十一世紀の選択』翻訳後記 陳鵬仁

「大学教育における人格養成——文化大学と創価大学を中心として」唐彦博

「二十一世紀現代女性の典型——香峰子」林彩梅

「偉大さは平凡の中に」劉焜輝

「池田大作の創価理論」方献洲

「日蓮正宗から独立した創価学会から見た宗教団体の自浄変革の必要性」

朱弘庭

「平和・文化・教育」第2号 創価大学平和問題研究所アジア研究センター 2006年2月

「池田大作の世界平和観」楊君遊 蘇衛平 蔡徳麟

「多国籍企業の発展と平和文化経営理念——池田大作の平和思想」林彩梅

「周恩来総理と池田大作会長の歴史的会見（講演）」孔繁豊

「池田大作の『平和』と『人道』思想

——池田先生の孫中山に対する尊敬より」林家有

「池田大作の平和思想に見られる儒学的意義とその普遍的価値」黄順力

「池田大作の魯迅観」譚桂林

『中外学者論「展望二十一世紀」』華中師範大学出版社 2006年10月

(『二十一世紀への対話』と現代社会) 池田大作思想国際学術シンポジウムの論文集 論文17篇

所収)

「文化の危機と人間性の復興」章開沅

『二十一世紀への対話』における観点と予言」張鏡湖

「21世紀大学教育の展望——トインビーと池田大作という智者からの啓発」林彩梅

「池田大作の調和理念——『二十一世紀への対話』からの解析」賈蕙萱

「21世紀の予言——『二十一世紀への対話』発刊30周年を記念して」

楊君遊 蘇衛平 蔡徳麟

「池田大作の仏教的生命価値論から見た生命に寄せる関心」張懷承

「池田大作の教師の“専門化思想”を探る」曾崢

「池田大作の教育思想の特徴をめぐって」王麗榮 李萍 鐘明華

「池田大作の歴史文化思想——『二十一世紀への対話』を再読して」陳鋒

「池田大作の文学観の多元性」李俄憲

『二十一世紀への対話』——東西智慧の結晶、文明対話の経典」冉毅

「20世紀の倫理の先駆者——『二十一世紀への対話』を読んで」王澤応

「人間と自然の共存共栄——『二十一世紀への対話』における池田大作の生態道徳観」黄富峰

「戦争は心に始まる——池田大作の戦争倫理観」曾小五

『二十一世紀への対話』における育児論、産児制限論について」高橋強

「グレート・ダイアログの源流——トインビー・池田対談」松島淑

「トインビー・池田対談の意義」ウィンストン・E・ラングリー